

平成21年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400537	事業の開始年月日	平成17年2月1日	
		指定年月日	平成17年2月1日	
法人名	株式会社 アイシマ			
事業所名	グループホーム あいらんど			
所在地	( 246-0026 ) 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南4-11-2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年1月18日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月7日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473400537&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473400537&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<あいらんど>は今年、開所6年目を迎えます。理念の明るく温もりのあるグループホームでありつづけるためには何を維持していくべきなのかと考えます。しかし、住んでいる方も変わらず和気あいあいと暮らしてこれたのも温もりのある人々がずっと一緒にいたからではないでしょうか。<あいらんど>では人生の最期までおつきあいさせていただいています。利用者様のお体は徐々に変化が見られており、ニーズも多様化しています。身体状況の把握に努め、お一人おひとりの想いを汲み取り、個別のケアの充実を更に図っていきます。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ヌグ双ファースト 3階		
訪問調査日	平成22年2月19日	評価機関 評価決定日	平成22年4月12日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

横浜市泉区・瀬谷区を中心に数多くのグループホームを持つ「株式会社アイシマ」が運営する「あいらんど」は平成17年2月に開設されたグループホームで、広々としたリビングがありゆったりとした雰囲気、地域で活動しているボランティアの方が演奏や紙芝居に気軽に訪問できる事業所です。  
このホームの優れている点としては、まず医療連携加算を取っており、医療面での体制が充実していることが挙げられます。内科・精神科の往診が月2回あり、歯科と看護師の訪問が週1回あります。「ターミナルケア」「看取り」の体制を整え、実際に主治医、訪問看護師、職員が連携し、本人・家族の意向に沿った「看取り」を経験しています。その他地域との関わりが強いことも挙げられます。自治会に加入し、回覧板が回ってきます。自治会の新年会に職員が参加したり、夏祭りに入居者が参加しています。  
このホームの工夫している点としては、外出の機会を多くするように行事等の計画をしていることです。散歩については、天候等がゆるす限り行っています。グループ関連の中華レストランで月2回の音楽療法を行い、月1回のバイキング形式の夕食をしています。その他、地域ケアプラザの催しの参加や地区センターで本を借りたりして外出をしています。また、「一行日記」をつけ、入居者の様子を家族に月1回必ず報告しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム あいらんど
ユニット名	つき

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は常に理念を念頭におき利用者に接しています。職員入職時には理念の説明を行い、玄関、台所、事務所に掲示し職員の周知をはかっています。	理念は、事務所、玄関、台所等に掲示し、理念を意識しながら入居者に接しています。職員入職時には、研修を行い、理念を理解してもらうように説明をしています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の一員として親睦会や行事への参加を積極的に行っています。地域の納涼祭やパターゴルフ、敬老会の誘いを受け交流を深めています。	自治会に加入し、新年会に職員が参加しています。自治会主催のパターゴルフ大会や夏祭りに入居者が参加しています。地域ケアプラザの所長がミニライブをしたり、地域のボランティアグループが楽器の演奏やフラダンス、落語などを行っています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的に行われる運営推進会議の中でグループホーム見学を行っており、実際に職員の対応を見ていただく機会を設けています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3か月毎に行っている運営推進会議ではホームの活動状況報告をしています。地域の方との意見交換や要望を伺っています。昨年末には餅つきの開催を希望され、あいらんどの庭で行い、利用者とともに楽しむことができました。	今年度は、7月、9月、11月、1月の4回、アイシマグループの4つが合同で行っています。事業所や避難訓練を見学してもらい、グループホームへの理解を深めています。	今年度は、グループホームの実情を理解して頂く期間でした。今後は、地域等の関係者からの意見を聞き出すことについての取組みが期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者とは密に連絡を取り、利用者様子などを伝えています。時には利用者の病院受診の付き添いや生活支援の相談も行い連携を図っています。	横浜市認知症高齢者グループホーム質の確保事業に参加し交換研修に3名を派遣し、2名を受け入れています。旭・瀬谷ブロック会議にも年4回参加しています。区担当者と入居者の生活支援について常に連絡を取っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関するホーム独自のマニュアルを作成し、職員には理解、周知を徹底しています。ホームは幹線道路に面しているため、事故の危険性が高く、安全が確保できる時は開錠し、外気に触れていただきます。</p>	<p>立地上出入り口には施錠をしていますが、入居者に対して、自由を束縛する行為は行いません。希望すれば外出はいつでも可能であり、職員は細心の注意を払って、外出支援を行っています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>社内の勉強会やホームマニュアルで理解を深めています。また、利用者の身体状況の変化に伴いケアの見直しなどカンファレンスで話し合ったり、ご家族への報告をおこなっています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>社内勉強会で学んだり、地域で行われる講習会や研修等に参加し、成年後見制度について学ぶ機会を設けています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者と家族の不安、疑問にはその場で回答し、理解、納得をしていただいています。経済的な不安などには円滑な手続きが行えるよう支援しています。料金改定時には法人からのお知らせと管理者からの説明を行って理解を図っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年に2回、家族会を開催しており、家族からの要望や意見交換の場を設けている。要望に関しては速やかに対応し、運営推進会議等で報告をしている。</p>	<p>昨年は6月と12月に家族会を開催しました。相談窓口は常時開いており、電話相談にも応じています。内容は苦情相談記録票に記載しますが、できるだけその場で解決する方針であり、意見の言いやすい環境づくりに努めています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回ホーム会議を行っています。合同会議とユニット別の会議を設け、職員からの提案や要望を聞く機会を設けています。また、申し送り時にはミニカンファレンスを随時行い、職員全員の意見を聞く事ができるようにしています。	所長会議には法人代表者と管理者が出席して、職員からの意見や提案を受け入れています。また1階と2階のホーム会議の後にはユニットごとの会議を開いて、職員全体の意志の疎通を欠かさないように、組織としての注意がなされています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の能力に合わせ、長所を活かすことができるような職場環境を作っています。パート職員は契約更新時に自己評価をつけ、次期の就労に反映できるシステムがあります。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に1回、研修センターにて管理者研修を行っています。また、月1回の社内研修(勉強会)では全職員が参加できるように設けています。介護に関するテーマを発表し学んでいます。その他にも研修案内を回覧し、個人でも利用可能な研修に参加しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年1回、瀬谷区が開催する同地区の運営推進会議やグループホーム連絡会に参加し、管理者との交流をはかりサービスの質の向上につながるように努めています。交換研修では多くの学びや気づきを自ホームで活かせるように取り組んでいます。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に本人と面接を行い、細かな点の把握し、不安な点などを聞き解決に向け対応しています。入所前にホーム見学を企画して、ホームの雰囲気を見ていただきます。他のホームと比べ入居者にとってどこが最適かご本人様と家族と検討しながら決めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に家族と面接を行い、細かな点の把握をしています。不安な点を聞き改善に向け対応していきます。入所前にはホーム見学を企画してホームの雰囲気を見ていただきます。幾度かの相談や見学を繰り返し、納得していただける信頼関係を築いていきます。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話を聞き、協力機関のサービス利用も踏まえて職員間で検討します。特に入居1カ月間位は環境の変化で不穏になることが多いため、全体を見ながら支援、対応をしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に尊重することを心がけます。支配する側、される側という意識をもたず職員が入居から学べる時間をはかっています。音楽療法の時間では季節の歌にちなんだ地域毎の風習や行事などを聞く事が聴くことがあります。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に行事等の参加を働きかけ楽しさを共にしています。家族による音楽ボランティアも実現。家族の参加によりご本人様も喜び、共に信頼関係が築かれています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中では馴染みの人や場所について話を盛り込み、展開させています。突然の訪問にも対応できるように面会の時間制限は設けていません。	地域との交流を重要視していますが、入居者自身も、趣味などと関連した以前からの交際を大切にきており、ホーム側でもこの援助に努めています。家族の訪問や電話連絡に時間の制限を設けず、積極的に支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の得意分野を把握しています。また、会話の中で紹介し入居者同士の会話が始まるように機会を作っています。また、入居者の性格、好みを把握し、入居者間のトラブルを回避します。入居者の関係性に配慮し改善に努めます。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	不幸にも亡くなられた方がいらっしゃいますが、ご家族はその後の様子をはがきで知らせてくれました。こちら利用者様の様子をいろいろお伝えし、関係を断ち切らないで付き合いをしています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でコミュニケーションを多く設け、悩みや希望などの把握に努めています。10時、15時のおやつ時間、散歩など1対1で会話できる時間を大切にしています。困難な場合は、ご家族と職員がカンファレンスを行い検討していきます。	職員は入居者と1対1で接して、話の内容を理解し、意志の疎通を図るように努力しており、入居者は職員に対して大幅な信頼を寄せています。入居者の毎日の様子を「一行日記」で家族に伝えており、高い満足度が伺える声もあります。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所されアセスメントで生活環境等をご本人より聞き、情報を職員で共有しています。入所契約時にご本人やご家族から趣味などの聞き取り調査を行っています。サービス利用時も様子観察を行い、変化が見られた場合は、その都度ご家族に連絡をし改善案を検討していきます。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々にケース記録があり、毎日記録しています。日々の生活の中で、入居者の気づきや有する能力などを見極めていきます。職員間で情報を共有し、個々の生活リズムの把握にもつとめています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活での出来事の中から問題点や課題を見つけ、職員全体でカンファレンスをおこない、医療関係者や家族からの要望を聞き、反映しています。課題と思われる時は随時ミニカンファレンスで意見をだしあっています。	介護計画の改定時期には、入居者や家族から意向を聞き、往診医の「入居者患者情報ファイル」や看護師の意見を聞いています。モニタリングシートを作成し、職員間でのカンファレンスの意見を取り入れ、介護計画書を作成しています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各入居者のケースファイルには個々の生活状況を記録しています。介護記録もファイルにのせており、全職員が介護計画に沿ってケアを行っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関と連携をとっており、定期的な往診医の訪問があります。内科医、精神科医、歯科医、訪問看護と状態悪化時には救急指定病院や関連医療機関への連絡・調整が可能となっています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホームのレクリエーションでは地域のボランティアによる歌や楽器演奏をはじめ自治会行事への参加、消防署による消防訓練を行っています。起震車体験など入居者も体験しています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人や家族の希望に応じて対応しています。利用契約時に希望するかかりつけ医の有無を確認しています。当ホームの協力医療機関の説明も行っており、ご本人や家族の判断で主治医を決めていただいています。	かかりつけ医は、本人や家族の意向を尊重しています。特に希望のない場合には、入居者の状況に応じて内科または精神科の医師を紹介しています。月2回協力医が往診を行い、入居者の健康管理にあたっています。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護ステーションとの契約に基づき、日ごろの健康管理や入居者の身体についての相談やアドバイスが受けられます。24時間連絡体制をとっているので急変時にも指導がうけることができます。(主治医の指示書をもとに)</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力医療機関と情報交換を行い、入院や退院の流れ、方法を統一しスムーズに対処できるように連携をとっています。ホームで対応可能な段階で早期の退院に努めています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用契約時に「重度化した場合における対応に係る指針」の説明文と同意書があります。重度化した場合には主治医と訪問看護と家族、管理者の4者で話し合いを行います。</p>	<p>ターミナルケアの対応体制は整っています。看取りを考える段階になった場合には本人・家族の希望を尊重し、希望があれば看取りに関する指針と同意書について医師から説明しています。看取りの経験があります。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>社内研修(勉強会)で心肺蘇生法や看護師による緊急時の初期対応の指導を受けています。消防訓練では救命講習を行い、AEDの指導も受けています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を年2回行っています。避難訓練、消火訓練、通報訓練、搬送訓練など消防署員による指導を受けています。一時避難場所の確認やホームの状況など運営推進会議で報告し、協力を得ています。</p>	<p>6月と10月に避難訓練等を行っています。消火訓練、通報訓練、搬送訓練、起震車体験や救命講習も取り入れ、消防職員の指導により実践的な訓練を行っています。緊急持出し用バッグを用意しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員入職時にはオリエンテーションを行っています。声の強さやトーン、柔らかい言葉使いを意識するように心がけています。記録類は事務所に保管管理し、個人情報に記載されている書類は目にふれないように指導しています。	「個人情報保護マニュアル」を整備し、「個人情報の取り扱いについて」を掲示しています。人格を尊重し、周囲に聞こえないような状況においてトイレ誘導や排便等の様子を聞くなどの配慮をしています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの生活リズムを尊重散歩、食事、入浴、趣味など自発的に活動ができるように働きかけています。時には時間をおき、気分や体調が変わるのを待ち改めて働きかけるようにしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールは決めておらず、体調や気分に応じて配慮し、思いや希望に沿って活動に参加していただいています。お稽古に通う方、趣味の塗り絵をされる方、音楽を聴かれる方と思いおもいの時間を過ごされています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に一回。訪問理容を利用されています。好みの髪形をご自分で注文していただけます。外出時にはご自分で服を選び口紅をつけておしゃれを楽しまれている方もいます。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何を召し上がりになりたいか、入居の声を聞いています。畑で収穫した野菜など持ってこられ食事にとりいれています。片づけは下膳までできる方、食器洗いまでできる方とさまざまですが、ご自分の力にあわせて行っています。	入居者の意見を聞いて献立を決めたり、味見や下拵え、テーブル拭き、配膳、後片付け、食器洗い、食器拭きなどを入居者の出来ることを職員と一緒にやっています。事業所の畑で採れた季節の野菜を話題に食事を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分摂取量のチェック表があり、一人ひとりの量を把握しています。食事の形態やその方にあった摂取方法を考え提供しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>ご本人の習慣を中心に口腔内の清掃を行っています。専用の歯磨きセットを用意し食後は口腔ケアの声掛けを行っています。週に1回の訪問歯科では口腔内のチェックや気になる所を相談してます。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄の失敗を減らすために定時誘導を行っています。排泄パターンを把握し、スムーズに行えるように見守りや介助を行っています。</p>	<p>排泄チェック表を作成し、24時間記録しています。排泄パターンを把握し、誘導を行っています。紙パンツの状態が入居してきた方が定期的な誘導を行い、布パンツに変更できた事例があります。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>適度な運動や食物繊維の摂取など心がけています。水分摂取量を記録し、こまめに水分補給しています。バナナジュースや夏季のおやつは食物繊維が豊富な寒天を召し上がっていただきます。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>その日の体調から入浴を勧めています。ご自分の生活のリズムの中で入浴を楽しんでいただいています。</p>	<p>入浴チェック表を作成しています。一日おきに午前中から午後にかけて入浴をしています。入居者の希望に沿って午後の時間指定の入浴など対応しています。季節を感じるように菖蒲湯・ゆず湯にしたりしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも休めるように、休息の時間を設けます。夜間に差し支えない程度に。身体の状態によっては医療関係者に相談し、安眠できるよう支援していきます。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者のファイルには「服薬リスト」を載せています。リストには作用や副作用も記載しており、全職員が確認することができます。新薬の開始、服薬の中止の場合は医師からの説明や留意点について申し送りやミニカンファレンスにて周知します		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所前からの趣や得意なことが継続できるように支援しています。人のために役に立ちたいという気持ちから自発的に家事手伝いをされる方もいらっしゃいます。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩にでかけています。長い時間をかけて散歩に行きたいとの要望があれば1対1で対応しています。	散歩については、天候が許す限り出かけています。法人が運営しているレストランへ外食に月1回、音楽療法に月2回出かけています。個別の外出支援として、眼科、胃腸外科に通院したり、地区センターへ本を借りに行ったりしています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には本社でお金を管理しています。ホームにて一時立て替え払いをし、月々のサービス利用料と共に請求しています。ご本人の要望によっては家族に相談します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が希望されれば、深夜、早朝ではない限り電話はかけていただいています。手紙のやり取りは頻繁ではありませんがご自身の想いを手紙につづっています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は演歌や童謡の音楽が流れていて誰もが口ずさみます。エアコンの温度調整はこまめに行い、体調の変化に留意します。のんびりと過ごしたい時はソファで楽な姿勢でくつろぐことができます。	季節感を感じるように雛飾り、5月節句、こいのぼり、七夕飾り、クリスマスツリーなどを飾っています。床暖房・エアコンの温度調節はこまめに行い、「9時と15時には換気をしましょう」という掲示をし、換気等に気を配っています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはソファがあり、ゆったりとくつろぐことができます。入居者が並んでテレビをみたり、談話ができる空間になっています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い続けている生活用品を持参していただいています。馴染みの家具を配置することにより混乱することなく落ち着いて過ごせるようにしています。	入居前に使用していた鏡台、机、ベッド、ロッカーなどの家具類や仏壇、テレビ、エレクトーン、お茶や書道の道具などを持ち込み猫の写真をベッドの寝ているところから見えるように飾るなど入居者の個性を活かした居室作りの支援がされています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁面には見やすい手作りカレンダーを飾っています。毎日入居者が日にちをかえています。食器類は安全を考慮した入居者の手の届きやすい場所に収納し、出し入れがひとりでも可能になっています。		

事業所名	グループホーム あいらんど
ユニット名	ほし

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>理念に基づく運営</b>						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	誰でも遊びに来れるグループホーム等、理念は非常に分かりやすい言葉が使われ、開放的でぬくもりのある暖かいホームを目指して日々努力しています。			
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩、季節行事、外出等で常に地域住民とのふれあいを大切にしています。散歩コースは決まった場所が多いので近隣の方々とはなじみの関係になっています。			
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で民生委員の方々には認知症の人の理解や支援の方法をお話しています。			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で提案された餅つきや熊野神社への初詣は早速実行されました。餅つきは12月28日に行われ、初詣は1月2日、6日に出かけました。			
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者、特に保護担当者とは密に連絡を取り合っています。先日も福祉用具の利用でADLの向上や安楽な生活が期待できる可能性を伝え用具を購入しました。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	抑制服、抑制ベルト、4点柵等の身体拘束はしていませんが出入り口の施錠は行っています。建物の立地上、玄関を出ると交通量の多い道路に直面し非常に危険なためです。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	役所や他の機関で行われる研修に参加しています。当たり前のように行われているトイレのドアを開け放してのトイレ利用は虐待に通じると学びました。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	アイシマの勉強会でも成年後見制度について勉強していますが、他の機関においても研修に参加しています。現時点では制度利用の対象者はありませんが支援の用意はあります。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	体力が落ち食事も十分に摂れない利用者様が往診医の判断でターミナル契約を締結しました。ご家族には十分な説明をし理解を得ています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、行事等ご家族とお話する機会に要望を聞いて運営に反映させる体制をとっています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回ホーム会議を行っています。合同会議とユニット別の会議を設置しています。職員からの提案や要望を聞く機会を設けています。申し送り時には、ミニカンファレンスを随時行い、職員全員の意見を聞く事ができるようにしています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得にむけた情報の提供や勤務調整を行い外部の研修にも参加できるようにしている。個々の状況に応じ、個々の活かせる労働内容作りに努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回社内研修、勉強会を開き担当グループホーム職員がテーマを発表しています。スタッフの心のケア研修も開いており研修の内容についてはホーム会議で共有しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区では各種の研修会が行われ高齢者虐待防止研修、防災の研修、職員交換研修等同業者との交流が活発に行われている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前は本人と面会し、家族と話し、不安点などを聞き解決に向けて対応しています。入所前にホームの雰囲気を見ていただき、会社には他ホームもあるのでパンフレットなどで知らせています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前にホームを見学し実際の雰囲気を見ていただき、相談を繰り返してご家族に納得していただくよう努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族から話を聞き内容から職員会議をします。入居すぐは環境変化で不穏、不安になることがあるため対応に努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者と一緒に学ぶ。例えば、調理、下ごしらえをしていただく。職員は入居者に調理方法を聞きながら調理したりします。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族へ行事参加、外出など楽しい時間を過ごせるように働きかけています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	突然訪問、電話など時間に制限無く、会ったり話せたりしています。場所は会話や写真から話題づくりをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の得意、不得意を把握し入居者同士会話が始まるよう機会を作っています。また、性格や好みも把握し入居者同士トラブルにならないよう努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられてしまったり、退所された入居者のご家族より、その後電話やはがきで知らせてくれました。職員も入居者の様子を写真などを送って関係を断ち切らないお付き合いをしています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションの機会を多く持ち悩みや希望を聞くよう努めています。意思疎通が困難な場合はご家族と職員がカンファレンスを行い検討しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族より生活環境等を聞き趣味、特技など情報を職員間で共有しています。サービス利用時、様子、変化をその都度ご家族へ連絡しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々にケースファイルがあり毎日記録しています。アクティビティーや体調の変化等を記録し、情報を職員間で共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎日の申し送り、毎月行われるカンファレンス、ご家族、往診医、訪問看護等必要な関係者の意見を取り入れケアプランを作成している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日、ケース記録、業務日誌、排泄表、水分表等記録しており、それらを参考に介護計画の見直しを行っています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ホームの入浴が困難な入居者には自社の訪問入浴を活用し入居者の清潔維持に努めています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣にある阿久和地域ケアプラザのカラオケや将棋、催し物に参加し、日常生活を豊かにしています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>月2回の往診、年2回の健康診断、週1回の訪問看護、毎日のバイタルチェック、排泄表、水分表の記録で健康管理に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回の定期訪問看護以外に必要時、電話やメールで問い合わせ、適切な受診や看護を受けられるシステムになっています。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	みひらクリニック、高座渋谷メンタルクリニック、ほうゆう病院、湘南泉病院とは医療連携が取れています。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	当ホームは看取りも行っているホームであり、希望者にはターミナル契約(必要時)を締結しています。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	勉強会、避難訓練等において応急手当を学んでいます。心肺蘇生は消防士に学びました。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	消防署の協力で気震車体験をしたり、避難訓練をしたり、また運営推進会議において地域の方々と防災について意見交換しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者のプライドやプライバシーを損ねないように配慮した対応が職員に周知されています。			
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者一人ひとりの意向を把握するために隣に座って話をするよう心がけています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自宅での生活と同じような生活が持続できるように一人ひとりに合わせた対応をしている。趣味のピアノを弾きたい方にはそのようにして頂き、パズルをやりたい方にはパズルを提供しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の更衣等入居者に選んでいただいたり、外出時の化粧や整容なども心がけています。			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの畑で採れた野菜が食卓を楽しくしています。毎日の献立も入居者と相談し入居者の能力に合わせた食事の準備、片付け等を行っています。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	完食出来ない方には介助をして摂取量を少しでも多くし、水分不足の場合はこまめに好きな飲み物を提供しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1日3回毎食後口腔ケアをしています。夜間帯は入れ歯をポリドントして清潔保持に努めています。週1回の訪問歯科でも口腔ケアを受けております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を見て誘導し、失敗を少なくしています。排泄物品の使用は極力減らし、綿パンツの使用に切り替えたりしています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防にバナナと牛乳の提供や根菜類の摂取等食物の工夫に努めています。また、こまめに水分を摂っていただけるよう希望の飲み物を提供するときもあります。散歩や掃除で運動もしています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望を取り入れた対応をしています。午後一人で入りたい入居者にはそのように、入りたくない入居者には無理強いはしていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天気の良い日は外に散歩に出かけ、程よい体操を行ったり家事の手伝いなどをして頂き、夜間、安眠できるように、日中体を動かしてもらいます。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	下剤の調整は毎日の排泄記録から判断しています。薬の見直しは常時主治医が行っておりますが職員から休止を相談する場合があります。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理の下ごしらえや洗濯物畳みなど出来ることをしてもらいます。レクリエーションとしてはピアノ、琴、習字、歌、パズル、オセロ等好きな事をしていただきます。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	公園に散歩に出かけたり、買い物に行ったりします。レストラン風の音に食事に出かけたり、音楽療法を受けに行きます。月2回程度家族の協力で自宅に外出する入居者もいます。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一緒に買い物に行きお金の出し入れは本人にお願いしています。また、習い事をしている入居者には月謝を手渡し、支払いをお願いしています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に使っていただいています。また、手紙の投函は頻繁に依頼され行っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています	季節を取り入れた装飾を心がけています。また、気持ちが癒されるよう動物の写真を廊下に貼り楽しんでいただいています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーにゆったり座っていただき思い思いの会話を楽しんでいただいております。廊下の片隅にはテーブルと椅子が設置されていますので物思いにふけるには最適な場所です。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	鏡台や馴染みのテレビを持ち込んで居心地よく生活している入居者もいます。また、自宅で読んでいた本に囲まれて生活している方も居ります。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線には物を置かないようにして、トイレは標識を貼り、浴室は暖簾をかけてわかりやすくしています。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地域等の関係者からの意見を聞き出す取り組みができていませんでした。	地域の方から事業所に対しての意見が聞くことができるように努めます。	運営推進会議、自治会行事等で交流が持てる機会には事業所に望む事柄を伺っていきます。	12ヶ月
2		開所当時に比べ、入居者様の介護度も上がっています。当初の理念が現在の入居者様の生活に合っているか検討していきたいです。	徐々に介護度が上がり、生活面では変化が出てきています。入居者様全員の生活に新たな理念が反映できるケアに結びつけたいです。	カンファレンスで職員の意見を募ります。現在の利用者様の身体状況や生活を踏まえ、話し合っ決めていきます。	3ヶ月
3		職員数や勤務状況等をご家族へは知らせていませんでした。	現在、勤務している職員をご家族に知って頂きたいです。そして、安心できるホームであると感じていただきたいです。	奇数月に発行している通信誌「あいらんど通信」で入退職した職員のお知らせや現在勤務している職員紹介をしていきます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。